

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	坂井市社会福祉協議会 希望園 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	令和6年12月23日 ～ 令和6年12月27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	令和7年1月8日 ～ 令和7年1月17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	母体が坂井市社会福祉協議会であり、法人内に相談事業所、ヘルパーステーション他、地域福祉課があるため、地域連携が図りやすい。	・地域福祉課のボランティアセンターに協力を得て、積極的に地域のボランティアを受け入れることで、風通しの良い事業運営を行っている。 ・相談事業所やヘルパーステーションと連携し、利用児童に不足している支援や福祉サービスについて検討し、調整している。	・学習面の支援が可能なボランティアの配置。 ・地域の児童との交流の場。
2	同施設内にB型・生活事業所があり、卒業後の将来を見据えた支援を提供することが出来る。	・日頃より、挨拶や活動を通して異世代交流や社会性を育む場を提供している。 ・就労や将来の生活において、就労サービス事業従事者等からも、児童の能力や強みについて、意見やアドバイスをもらい支援に取り入れている。	・長期休暇等を利用した作業体験の提供。
3	園庭やある程度の広さがある玄関ホール等がある。	・外出することなく、天候に応じて外遊びや運動をすることが可能。	・園庭での活動がマンネリ化しないための備品整備。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設の立地が、三国町内の学校から遠く、地域住民や地域の子ども達との交流や体験をする機会を設けることが難しい。	・事業所の近隣に在住する児童分布の把握が出来ていない。 ・定期的な交流を行うための移動手段の確保が難しい。	・近隣の子ども会や児童クラブとの連携
2	・活動場所が玄関から離れているため、支援者の目が届きにくい。	・玄関から離れていることで、防犯面や飛び出しなどを防ぐという視点での安全性は高いが、送迎時における不便さや、職員体制が手薄な時に、児童が分散してしまった場合は支援が難しい。	・インカム等を利用し、玄関横にある事務所に在中の職員と連携を図る。